

## 基本目標1

主な意見	意見に対する回答
基本目標1は第1次産業が強すぎるため、デジタルやIT化を進めるべきである。	国県補助事業を活用しながら、スマート農業などの推進を進めます。
観光振興は、ソフト面を佐渡観光交流機構、ハード面を市が行うべきである。役割分担を明確化し、戦略をもって取り組むべき。	観光戦略や方向性、ハード面は行政、その戦略に基づく事業実施は佐渡観光交流機構と役割分担をしています。戦略については、総合計画の内容を踏まえ、観光計画作成の必要性について関係課と検討します。
農業政策において団地化を進めるべきである。	人・農地プランを活用して、地域での話し合いを行っています。その中で、地域の実情に応じた集落営農、農地の集約化、新規作物の取組が、団地化・組織につながると考えています。
漁協関係は待遇の悪さから人手不足となっている。そういった対策は必要ではないか。	佐渡市水産業雇用促進センターでは新規就業者が安心して就業できるよう、雇用主に福利厚生を含めた就業環境の改善を働きかけるとともに、雇用の継続に向けた漁業研修を支援しています。
女性の確保をテーマにした適正な仕事の就業、仕組みづくりが必要ではないか。	令和2年度実施した男女共同参画に関する事業所アンケート結果において、「男は仕事、女性は家庭」という性別の役割分担意識が根強く残っています。まずは、働く女性にとって魅力的な仕事づくりにあわせ、女性の活躍に向けた意識改革を積極的に進める必要があります。 基本目標1 男女共同参画の推進修正
インバウンドなど新型コロナウイルス感染症の状況について、どう考え、計画に反映していくのか。	インバウンドに取り組む前段として、まずは国内観光需要の回復期に合わせ、効率的な誘客に取り組みます。インバウンド回復期を見据え、情報発信を継続して行っています。
観光振興に「おもてなし心」が入っていない。	基本目標1「観光振興の振興」中項目の内容を修正します。
「安心して働く」とは、マインドのことか、金銭面のことか。	安心して働くことができる環境整備を指しています。誰もが安心して生き生きと働ける職場環境づくりが求められています。
元気な産業を優先し、安定した雇用は次である。	地域の特色・強みを活かした産業の振興や企業の競争力強化を図り、効果的に域外から稼ぎ、効率的に域内で循環させ、雇用につなげていきます。地域の稼ぐ力を高めるだけではなく、多様化する価値観やライフスタイル・ワークスタイルも踏まえ、誰もが安心して働くことができる就業環境の整備を通じて、仕事の間であり生活の間である地域全体の魅力を高めることが必要であると考えています。

## 第2期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に関する市議会からの意見まとめ（概要版）

### 基本目標1

主な意見	意見に対する回答
島内企業の給与より、企業誘致した企業のバイト料の方が単価が高いことが問題である。	島内に様々な企業誘致を進めることで、島内外の雇用や人材の確保を進め、島内の消費需要を増やすことで島内経済を活性化させ、給与水準の上昇につなげていきます。
佐渡は所得の低さが問題である。生産性をあげ、稼げる仕組みが必要ではないか。	少子高齢化、人口減少に伴い、生産年齢人口が減少しています。限られた地域の労働力を効率的に活かしていくことが必要となります。ICT化の利活用を含め、労働生産性をあげるとともに地域資源・産業を活かした稼ぐ地域の実現を目指します。
「新規就農者確保」はいつも同じ表現である。また、新規就農には、住居、作業小屋、機械の整備が必要となる。	農業者においても高齢化が進み、人材・担い手確保が重要な課題となっています。関係機関と連携し、新規就農確保に向けた取組を引き続き進めます。特にIターンの方は、住居場所と就農場所を一体に検討することが必要であり、研修等を通じて居住場所・取組品目など慎重に対応しています。
畜産において新規参入のネックは場所である。空き牛舎の活用を加えるべき。	県と連携し、廃業農家とのマッチングを進めています。計画に反映し、修正します。
園芸振興の記載がない。	水稻や園芸作物に限らず、無農薬無化学肥料で栽培された農産物の生産拡大として記載しています。
マッチングできる人材が必要である。特定地域づくり協働組合など作るべきではないか。	移住者や季節移住者の受入れ促進のため、「暮らす」「働く」を一体的に推進するとともに、人材不足の解消に向けたマッチング事業、副業支援、魅力ある職場環境の創出などに取り組む「中間支援組織」設立に向けた取組を、総合戦略期間内に予定しています。
多様な働き方として、副業カレンダーなど新しい取組を入れてはどうか	基本目標1 誰もがやりがいを持って働ける環境づくりの多様な働き方に含まれています。
観光インフラ整備が抜けている。シャワートイレの前に様式化が先ではないか。	計画に反映し、修正します。
福祉施設から一般就労への移行者数を福祉施設に限定しなくても良いのではないか。障がい者雇用受入れ整備している企業数をKPIにしてはどうか。	障害者総合支援法に基づき令和3年3月に策定された「第6期佐渡市障がい福祉計画」において、国が定める基本方針に即し設定された目標数値であり、計画と整合性を図っています。

第2期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に関する市議会からの意見まとめ（概要版）

基本目標 1

主な意見	意見に対する回答
林業振興については、単発で終わる事業のみ記載されており、方向性がない。高齢化による人材不足や関係機関の体制強化など記載すべき。佐渡の林業の未来が見えない。	基本目標 1 ＞ 農林水産業の振興＞ 木材生産の効率化に向けた取組を修正します。
林業にバイオマスの記載がない	上記と同じ

## 第2期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に関する市議会からの意見まとめ（概要版）

### 基本目標2

主な意見	意見に対する回答
移住とUIターンには仕事が必要。UIターン施策と仕事は連携し行うもの。	仕事と暮らしを一体的な取組として、お試し住宅の増設や空き家の改修整備等に加え、佐渡で起業する若者への支援や人材・起業の受入体制整備の取り組みを行っています。
ひとの流れに観光・交通も入るのではないかな。	国の第2期総合戦略基本目標2において、東京圏への一極集中の是正に向けて、地方へのひとの流れをつくるため、若者等の夢や希望を抱いて地方へ移住する動きを支援し、地方に訪れ、住み続けたいという希望の実現に取り組むこととしています。 当市においても、基本目標2では、地方への移住・定着の推進、地方とのつながりの構築として位置づけ、重点施策として取り組むこととしています。
起業創業の拡大及びUIターンの強化の主な取組の一部は基本目標1になるのではないかな。	上記と同じ
離島留学制度を推進するにあたり、佐渡で勉強したいと思える仕組みが必要である。	地域探究等の特色ある取組や郷土芸能等の地域ならではの魅力を活かしつつ、佐渡教育コンソーシアムを中心とした佐渡全体で離島留学をバックアップする仕組みづくりに取り組みます。
KPIの高等学校に留学した学生の目標値16人は根拠はあるのかな。	離島留学では、特別に県外性が受験することのできる「特色化選抜」制度を活用します。羽茂高校での特色化選抜の年間定員が4名のため、この制度を最大限に活用した場合の留学生を目標値としています。

## 第2期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に関する市議会からの意見まとめ（概要版）

### 基本目標3

主な意見	意見に対する回答
出生数を増やす取組がない。	基本目標3 安心して妊娠・出産できる支援の充実として、不妊治療費に加えて、新たに不育治療費への助成拡充を行います。また、妊娠された方が安心して出産できるよう、医療費助成の充実を図り、出生増につながるよう取り組みます。
ファミリーサポートは市で関われることは少ないと聞いているが、拡充という書き方で良いのか。	民間の力を活用することの検討を含めて事業「拡充」としています。
郷土愛を軸にしたキャリア教育の具体的な定義、内容とは。	佐渡市教育振興基本計画において下記のとおり示しています。 「佐渡を知り、愛し、誇りとするキャリア教育」 (1)佐渡の自然・歴史・文化への理解を深め、体系化した「佐渡学」を中核とする郷土学習の推進 (2)課題解決学習を取り入れた中学校における職場体験活動を充実 (3)「佐渡市学校教育におけるキャリア教育のグランドデザイン」に基づき、幼児期から高等学校教育まで発達段階に即した教育活動
郷土愛を軸にしたキャリア教育に地域探究や高校向けの郷土愛を盛り込むべき。	地域探究や職場体験など、学びで得た思いや知識などをポートフォリオの形で蓄積し、幼児期から高校までつなげます。その時々地域探究の成果を、より効果的に生かしてキャリア形成を進めたいと考えています。
学習意欲向上は、「佐渡を担う人材」につながるものなのか。	「学習意欲向上プロジェクト」として、大学や先進校とつながり、教育の質向上により佐渡を担う人材を育成します。
婚姻率の現状値・目標の根拠はなにか	新潟県で実施している人口動態統計の数値を用いています。

## 第2期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に関する市議会からの意見まとめ（概要版）

### 基本目標4

主な意見	意見に対する回答
地域移動、観光移動の課題解消が必要	新たなモビリティサービスを活用した地域・観光移動により、公共交通機関の利用促進を図ります。
地域づくりでは、若い人が地域とつながる「若い人向け」の取組を検討してほしい。	各支所・行政サービスセンターを拠点として、情報収集・意見交換を通して地域のニーズや課題を把握したなかで、課題解決に向けた取組を進めていきます。
航空路の再開が先であり、2,000m化はその後。	計画に反映し、修正します。
自動運転など夢のあることを記載。	計画に反映し、修正します。
健康づくり介護予防の推進 ・主な取組内容に「介護予防」の記載がない ・介護予防教室参加者数をKPIに盛るべき	計画に反映し、修正します。
地域包括ケアシステムの内容が第1期と同じである。	計画に反映し、修正します。
安全・安心な医療が受けられる体制について、総合計画と整合性をとるとともに、医療体制について踏み込んだ記載。	総合計画の政策の展開と合わせ、へき地「医療の維持の取組」を加えるとともに、病床減少への対応として「医療・介護・福祉の連携体制の強化」について追加します。
KPIのジオパークガイド数は3資産ガイドにしてはどうか。	日本ジオパーク再認定結果において、ジオガイドとしての質の高さ、ジオパークの保全を図る活動が評価されています。引き続き、次回審査に向けガイドのスキル向上に取り組むものです。観光ガイドの利用と合わせ、観光客の満足度向上に努めます。
AEDの普及率向上及びAEDマップの作成を検討	公共施設においては、AED設置は100%となっていますが、民間事業所等については、設置義務や報告義務がないため、設置状況を確認することが難しいです。しかしながら、未設置事業所に対しては、引き続き救急講習等でAEDの有効性について伝えていきます。また、AEDマップは佐渡市ホームページにて公開しています。（※公表を承諾した事業所のみ）



## 第2期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に関する市議会からの意見まとめ（概要版）

### その他

主な意見	意見に対する回答
全体的に5年間の具体的な表現がない。	地方創生関係交付金は、地方版総合戦略に位置づけられた事業が交付金対象となるため、全般的に広く読み取れるよう記載しています。具体的な内容については、各個別計画にて記載しています。
自分たちで資料を作成し、生きたい計画にしてほしい。 佐渡の良さを出し、工夫をこらした市民に寄り添った内容にしてほしい。	地域の特色や地域資源を活かした住民に身近な施策となるよう、総合戦略に盛り込んでいます。
旧市町村毎の人口増減に対応した政策も大事である。	小規模人口推進について、予算も含め内部で検討します。
女性が活躍してる地域なら佐渡に帰ってくる。男女共同参画の視点で地域社会における女性の地位について盛り込むべき。	基本目標1 男女共同参画の推進に追記しました。
男女共同参画の推進として、若者や女性の流出を抑えるため、風土を変える取り組みが必要。	上記と同じ。
合計特殊出生率2060年に2.08は遅い。目標は高く持つべき。	出生率低下には、「未婚率・初婚年齢の上昇」と「夫婦の子どもの数の減少」が大きく影響しています。働き方改革の取組、子育て支援、産業振興、まちづくりなどの基本的な施策が若い世代の支援として機能しているか中長期的視野で改善を図っていく必要があります。結婚・出産・子育てしやすい環境の一体的な整備により、合計特殊率増加を目指しています。
予算に関わらない部分も取り組みとして計画に掲載すべき。	側面的な支援も含め、計画に反映しています。